

## 資源の有効利用

事例名	3. 路側修景施設工
工事名	難知日見線 森林基幹道開設工事
施行場所	対馬市 美津島町
事業年度	平成14年度
実施機関	対馬支庁 林業部 森林土木課
適応可能な事業	公園、道路等

### <具体的な環境配慮内容>

間伐材を有効利用するとともに、自然環境や景観にマッチした規格・構造にした。

### <環境配慮の目的と視点>

山の中で切り捨て放置されていた間伐材を使用することにより、資源の有効利用につながる。

### <環境配慮技術の概要>

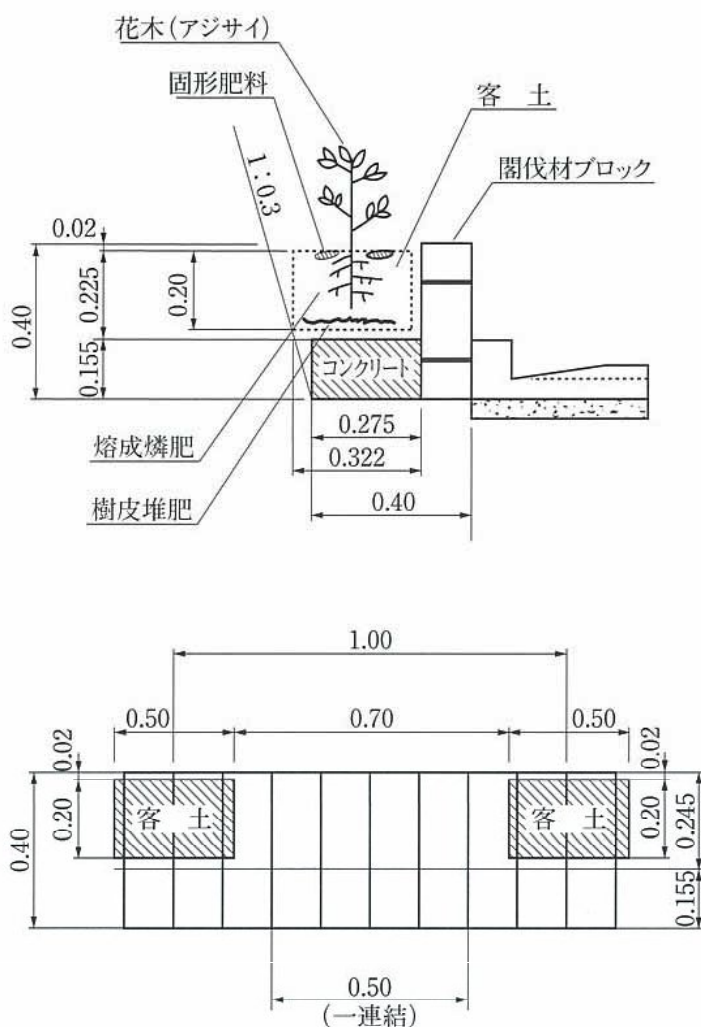
道路の路肩のほか、遊歩道にも施工できる。  
間伐材の連結ブロックを使用しているため施工が容易である。  
埋め戻し後の転圧を十分に行うことが必要である。



森林基幹道 難知日見線（しらたけエコーライン）



路側修景施設工 施工状況



修景施設工 標準図 (単位: mm)

< 環境配慮による効果 >

路肩保護機能をもつ木製構造物に、アジサイ等を植栽することにより、自然環境や景観に配慮した環境に優しい工法になっている。

固いイメージがあるコンクリート等の構造物が多い道路で、自然環境に優しい木材を用いたり植栽を行うことで、運転する人の気持ちを和らげることができ、安全運転にもつながる。



< 課題等 >

木製構造物であるため腐朽した場合、取り替え等の維持補修が必要となる。また、植栽した草木の維持管理も必要となる。

< 同技術を採用した他の事例 >

工事名称	実施機関
難知日見線森林基幹道開設工事	対馬支庁林業部森林土木課